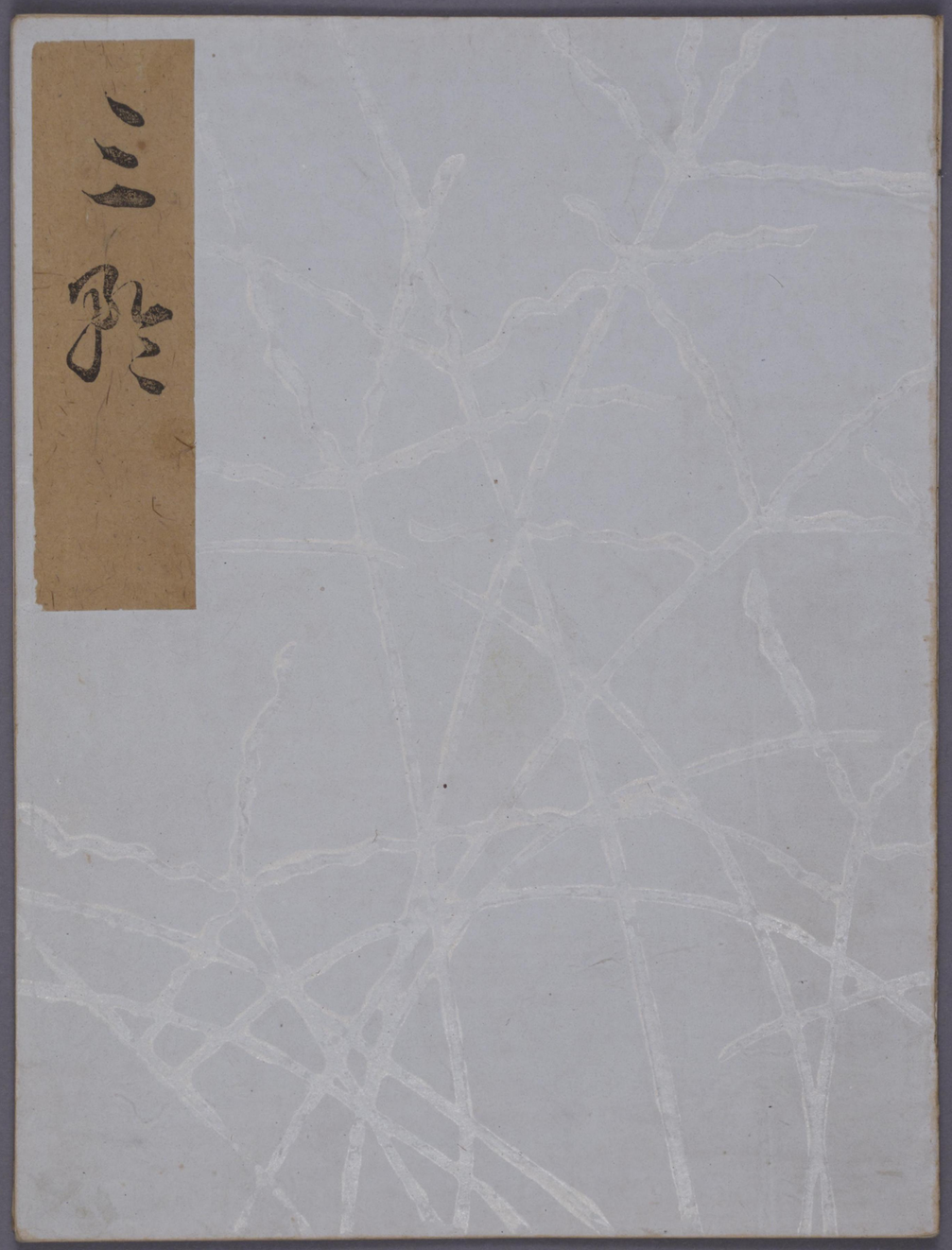


[謡本] 三輪 1冊 WA7- 090-001

国立国会図書館

A 1 2 3 4 5 6 M 8 9 10 11 12 13 14 15 B 17 18 19

ヤキ詞

是い和州三輪乃山のけ小住右
いる事実とヤ者そそしそそも
生雑穢ある源水をくそそ来国
者ましそわも学たわてしはく
いつな風者そと思を取りや空
下ー二ー下ー三輪乃山ともそも
下ー二ー下ー
ま

書 17.10.-6 国会図

[謡本] 三輪 1冊 WA7- 090-002
国立国会図書館

A 1 2 3 4 5 6 M 8 9 10 11 12 13 14 15 B 17 18 19

（サレ）
実や老の不実と
君ハ乃うそづき
こゝろ
遅里久登あそこ
あくてゆくまゝ
三股乃里ゟ住吉
詞
まつさき山うら
我ゟ人ゟ後の

ありみ水をさそひ
（ヤキ上カル）
そわもみぢ
山頭ゟはよ
河口乃
（下）
山田も仮
ばそそぬま
（手前）
ゆふ
ゟ
ひとも

[謡本] 三輪 1冊 WA7- 090-003
国立国会図書館

A 1 2 3 4 5 6 M 8 9 10 11 12 13 14 15 B 17 18 19

やしろの　（半詞）　菜摘ますらを
みたもますまほ人の　（シテ上カル）　山彦の
にへてをきとも出ん　（ロキ上カル）　月光地よ
ふひてりへとも
（二人上）　ここに
〽名詞をさへしるへして
ここに　（下）
閑かなる山居　ふもと乃あそたを
をしひ〳〵まつ
きてわきまえ乃
（上の）
ここに　秋さ毛まつ
野乃松のをうちま
〽まし〳〵遥乃面つはせ〳〵や
（一ノ二）
ふもちはま〳〵む下掏乃
（一ノ二）
ゆうそふ志ほのかなる
さひ〳〵　（ワ詞）
〽ゆる上人みやへ

[謡本] 三輪 1冊 WA7- 090-004
国立国会図書館

事ありて秋も来ぬるころ
清水を一重結ぶころ
ほととぎす夜を籠めて
いはくよりも聞く人ぞ
住吉ハ三社乃里山ともち
所なれど上野菴ハ三輪乃山本
ちりをハらハよりもなほ

なるよしをまねびそとひ行ふへ
なれもみ世
上九ル
ふるひ
まろうそ
ゐ
上三ウ
程ハ三輪乃里近

[謡本] 三輪 1冊 WA7- 090-006
国立国会図書館

A 1 2 3 4 5 6 M 8 9 10 11 12 13 14 15 B 17 18 19

未世の宮まで乃
御ふくおりて
愛宕よ、すべ
（シテ上カル）
そほうなる
ふくや雨ふ
こゝや（ヤキ）
ぐ祝をふ
（シテ）
海原乃方仮なを
まひお（シテ）人さ
三輪乃神ぐ
ひきうんてぐ
かる恵ほう
る雨ふのけ
たまふかた

[謡本] 三輪 1冊 WA7- 090-007
国立国会図書館

A 1 2 3 4 5 6 M 8 9 10 11 12 13 14 15 B 17 18 19

[謡本] 三輪 1冊 WA7- 090-008
国立国会図書館

[謡本] 三輪 1冊 WA7- 090-009
国立国会図書館

[謡本] 三輪 1冊 WA7- 090-010
国立国会図書館

[illegible]
[illegible]
[illegible]

神楽をそうそう
天照大神を
ひらきたまへば
雲ひ祓てば月ひろわれ
人乃おもてを
面白や岩神
如乃物かうる

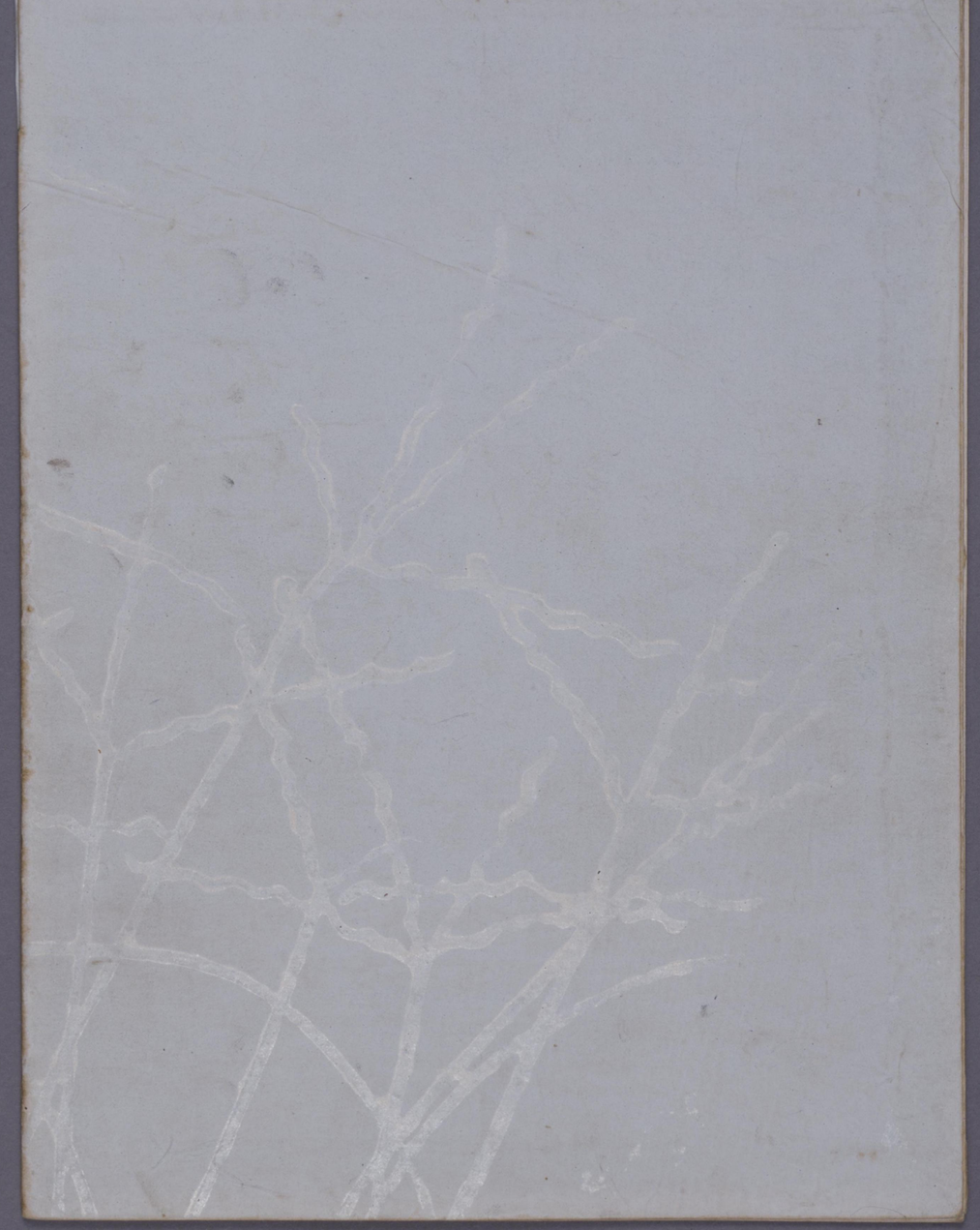
三輪乃神く
ここに
ヤ更ければ
乃ち
若き

[謡本] 三輪 1冊 WA7- 090-011
国立国会図書館

国立国会図書館

[謡本] 三輪 1冊 WA7- 090-012

国立国会図書館



[謡本] 三輪 1冊 WA7- 090-013

国立国会図書館